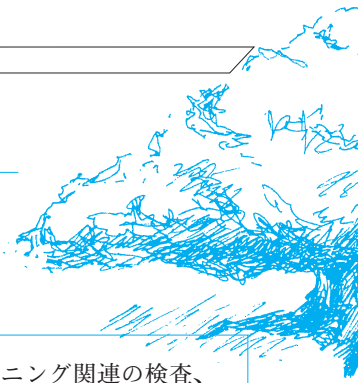


# 会員のひろば



Challenge Our Originality  
世界一の Shot Peening Professional 集団を目指して

東洋精鋼株式会社

代表取締役社長 渡邊 吉弘

所在地 愛知県弥富市馬ヶ地三丁目  
195 番地の 1

TEL : 0567-52-3451

FAX : 0567-52-3457

URL : <http://www.toyoseiko.co.jp>



## 事業内容

ショットピーニング用カットワイヤー&ラウンドカットワイヤーの製造販売および自動車・航空機向けショットピーニング受託加工・残留応力測定

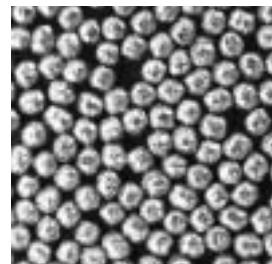
当社は、自動車部品、航空機部品などの部品の強化並びに耐食性向上を目的とする表面処理であるショットピーニング分野で、高寿命・高品質なラウンドカットワイヤーおよびカットワイヤーを製造販売しております。平成元年には日本初の高硬度ラウンドカットワイヤーをトヨタ自動車殿と開発し、以降もショットピーニング分野を中心に事業分野を広げて参りました。特に近年では、フランスの SONATS 社と連携した小型・軽量・ポータブル

の超音波ピーニング装置の開発、ピーニング関連の検査、管理装置を得意とした米国 EI 社の代理店契約さらには Nadcap (連邦航空宇宙・防衛受託加工認定プログラム) を取得し本格的に航空機部品のピーニング加工も行っております。

さて、当社の主要なおお客様であります自動車業界は、今後益々海外における生産を積極展開されます。当社と致しましても、品質の高い製品を造り続け、安定的に全世界に対しご提供することが使命であると考えております。また、航空機分野におきましても、軽量化ならびに高強度化の要求により、より一層当社製品へのニーズが高くなると思います。私達のビジョンは、「部品材料の強化を目的とした表面処理分野でエキスパートカンパニーになること」であります。今まで培ってまいりましたショットピーニング技術を更に磨きを掛け、自動車、航空機、原子力などの分野でおお客様の視点に立った木目細かなサービスを展開して行きたいと思っております。



製品 1



製品 2

我が社の社員は、  
心で鍛造品の形を作っています。

田中勝鉄工有限会社

代表者 田中 澄雄

資本金 1000 万円

創立 昭和 3 年 10 月

所在地 名古屋市港区天目町  
114 番地

TEL : 052-303-1800

FAX : 052-303-1888

URL : [tanaka-katsu@aw.wakwak.com](mailto:tanaka-katsu@aw.wakwak.com)

敷地面積 5,257㎡ (約 1600 坪)

工場建家 1,500㎡ (約 400 坪)



## 事業内容

自動車部品・自動二輪車部品・産業機械部品・架線金物部品の鍛造品の製造をしています。

ありきたりの下請け企業ですが、よりよいものを納期に合わせて作ることに力を込めています。

弊社は昭和 3 年当初より、大型鍛造部品(フリー鍛造)を製造し主に造船関係の仕事を行ってまいりました。

その後、型鍛造へと変わり電力関係の架線金物部品を多く手がけるようになりました。

近年は中部地区の自動車産業が活発になった頃より自動車部品を主体とした製造へと変わっております。

品物の許容重量は小さなものは 12g より最大 8kg までを可能としており、また形状も丸ものから非対称品まで、製品形状の制約が非常に少なくあらゆる形状を生産しています。

特に非対称部品には自信を持っており、高い生産性と精度を誇っています。

製造設備は 3 ラインの設備を有しております。

1.3T、1.0T、0.75T のハンマー能力を有しており、製品形状或いは大きさに合った設備での製造が出来るため、高品質で低価格なものを作ることが出来ます。

また、後工程にてプレス機械を使っての冷間コイニング、穴明け等も行っており、最終形状に近づくための努力を日々実施しています。

物作りは、常に挑戦と努力と遊びです。